

Euglena Group

Logmi IR LIVE

個人投資家様向けIRセミナー

株式会社ユーグレナ

東証プライム市場（証券コード：2931）

2026.05.28

【免責事項】本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

ユーグレナ 

ユーグレナは何をしている会社？

- A. 健康食品（ヘルスケア事業）の会社
- B. バイオ燃料の会社
- C. 微細藻類の研究と事業開発

ユーグレナ・グループの事業

「人と地球を健康にする」のパーパスのもと、様々な事業を展開

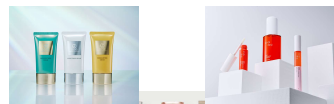
微細藻類を軸に、オーガニック成長、M&A、新規領域で、サステナブルな事業成長を目指す

ヘルスケア事業

健康食品



化粧品



ユーグレナ

Q'SAI

yaeyama

épauler

mej



The Strategic FAB Company
SATICINE MEDICAL

バイオ燃料事業



ユーグレナ PETRONAS eniive



その他事業

アグリ領域
(1次産業)



Jaikyo
大船配理



バイオインフォ
マティクス

Genequest

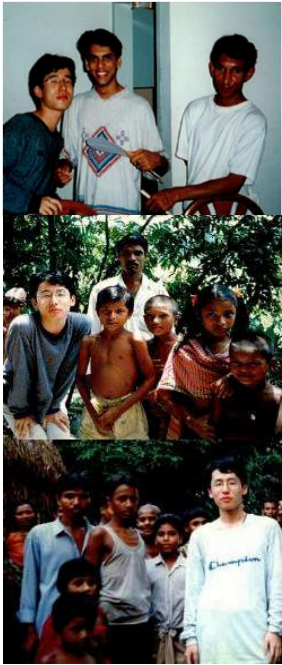
ソーシャル
ビジネス



Grameen euglena

微細藻類ユーグレナ - 創業の原点と屋外大規模培養の成功

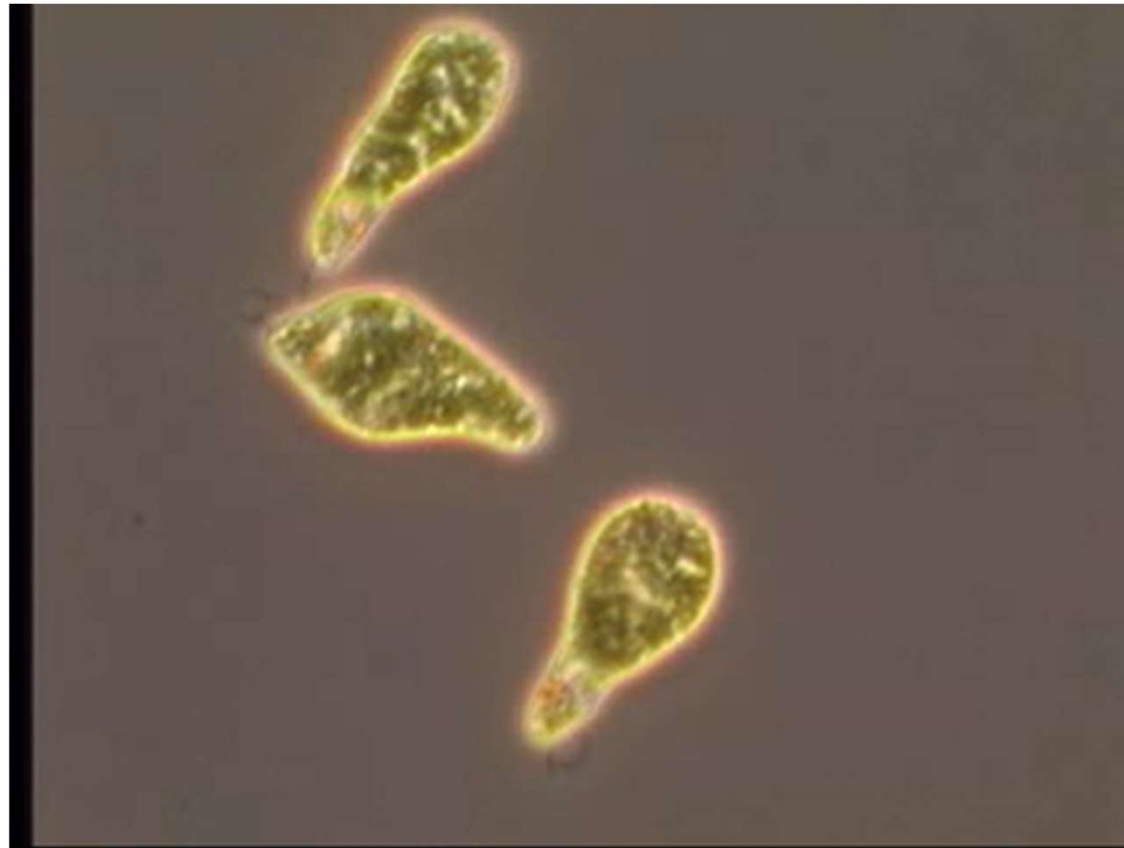
創業の原点



社長の出雲が
 Bangladesh で
 栄養失調問題の
 解決を決意
 (1998年)

ユーグレナ

微細藻類ユーグレナ



栄養豊富な食品を探し求め、微細藻類ユーグレナと出会う。
 当時、まだ誰もユーグレナの大量培養に成功していなかった。

創業と挑戦



東大農学部発
ベンチャーとして創業



屋外大規模培養に
世界で初めて成功
(2005年)

微細藻類ユーグレナ - 生物としての特徴とポテンシャル

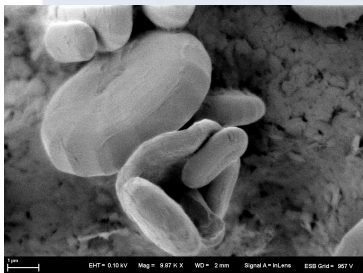


動物と植物の
 両方の栄養素を
 含有する食品素材

1 59種類の栄養素

2 マルチ機能性

希少成分
 パラミロン
 (特異的なβグルカン)



撮影：青山学院大学 福岡伸一教授

睡眠の質、疲労感、
 ストレス、免疫機能
 に関する機能性表示

ユーグレナ

3 多段階活用

生産量↑ × 生産コスト↓
 で事業を拡大

バイオマスの5F

重量単価

Food
 (食料)



食品
 原料



健康
 食品

Fine Chemical
 (高機能原料)



パラミロン



化粧品原料

Feed
 (飼料)



畜産



養殖

Fertilizer
 (肥料)



有機肥料



有機培養土

Fuel
 (燃料)

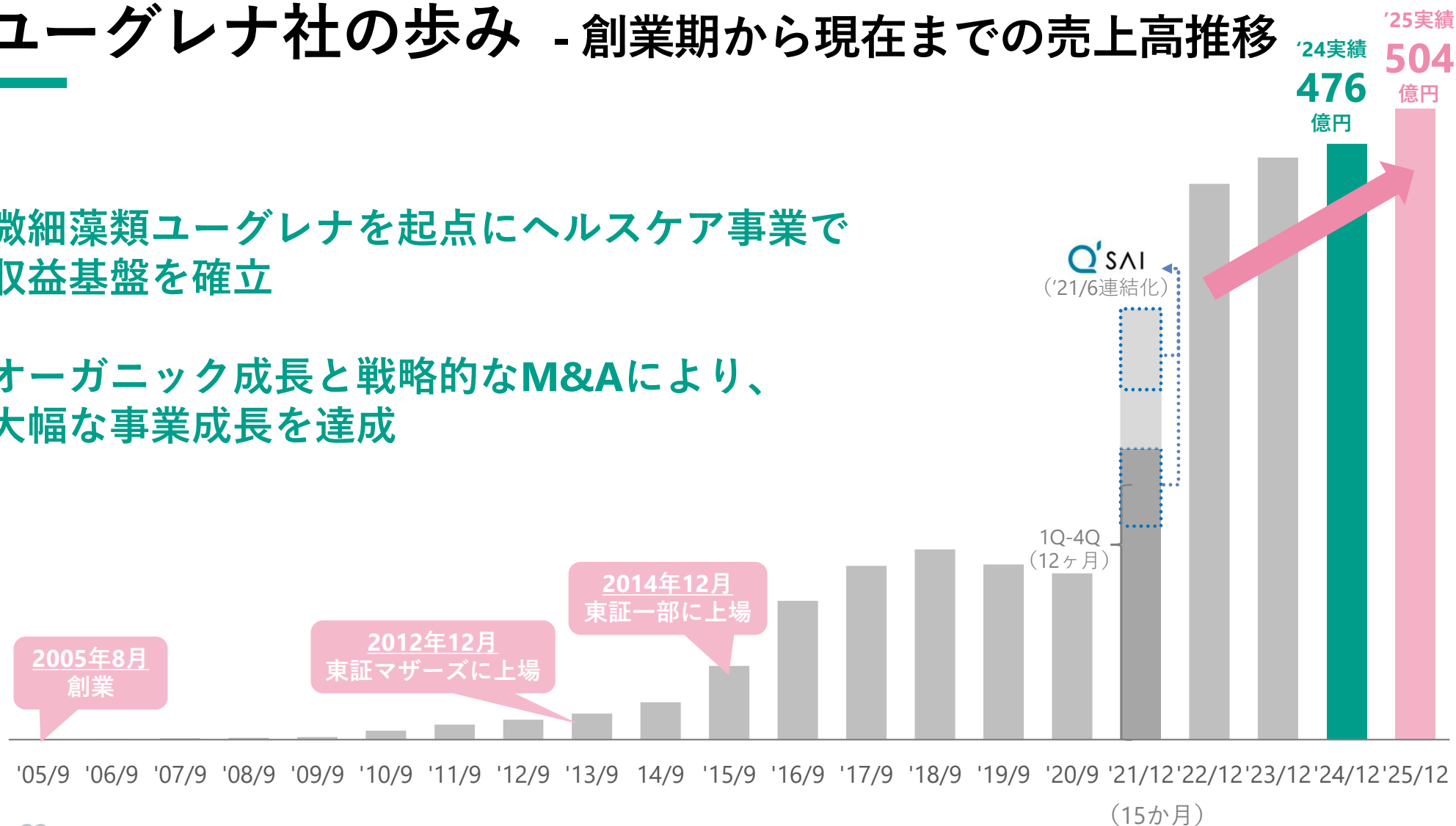


バイオジェット燃料
 バイオディーゼル燃料

ユーグレナ社の歩み - 創業期から現在までの売上高推移

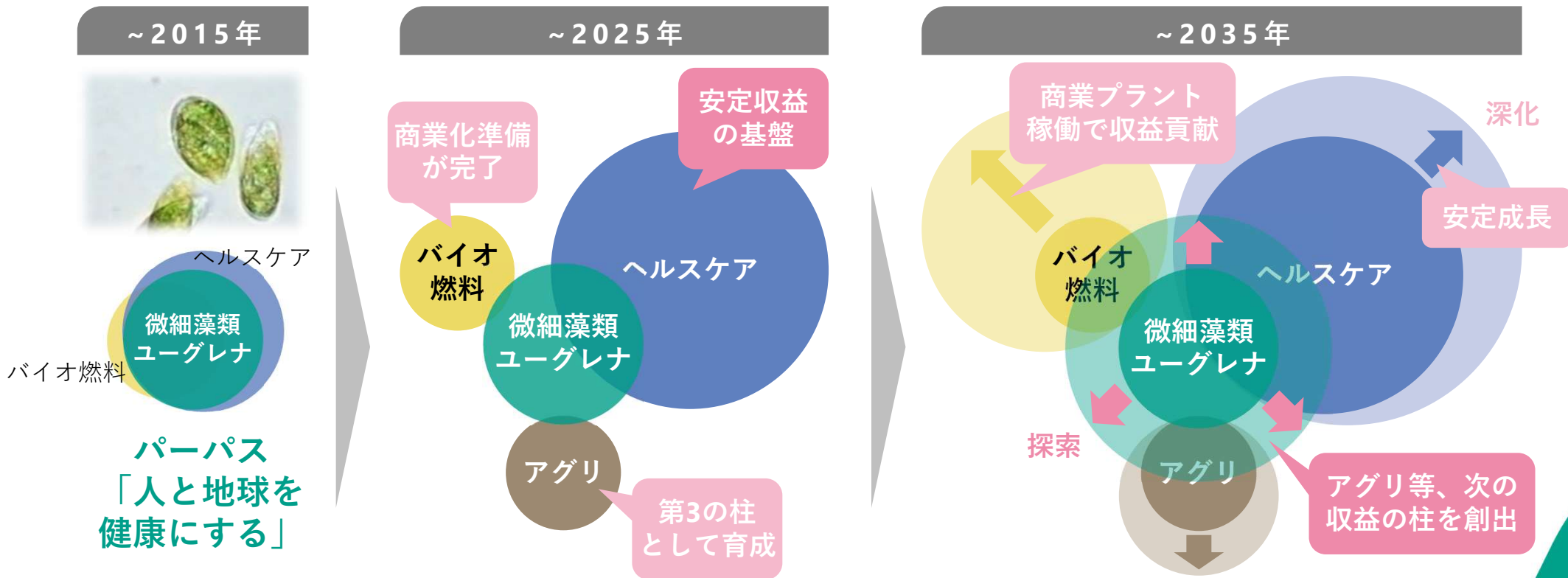
微細藻類ユーグレナを起点にヘルスケア事業で
収益基盤を確立

オーガニック成長と戦略的なM&Aにより、
大幅な事業成長を達成



目指す姿 - 微細藻類ユーグレナを軸に成長を追求

パーパス「人と地球を健康にする」のもと、微細藻類ユーグレナを起点にヘルスケア事業・バイオ燃料事業を推進し、その先の新規領域にも参入

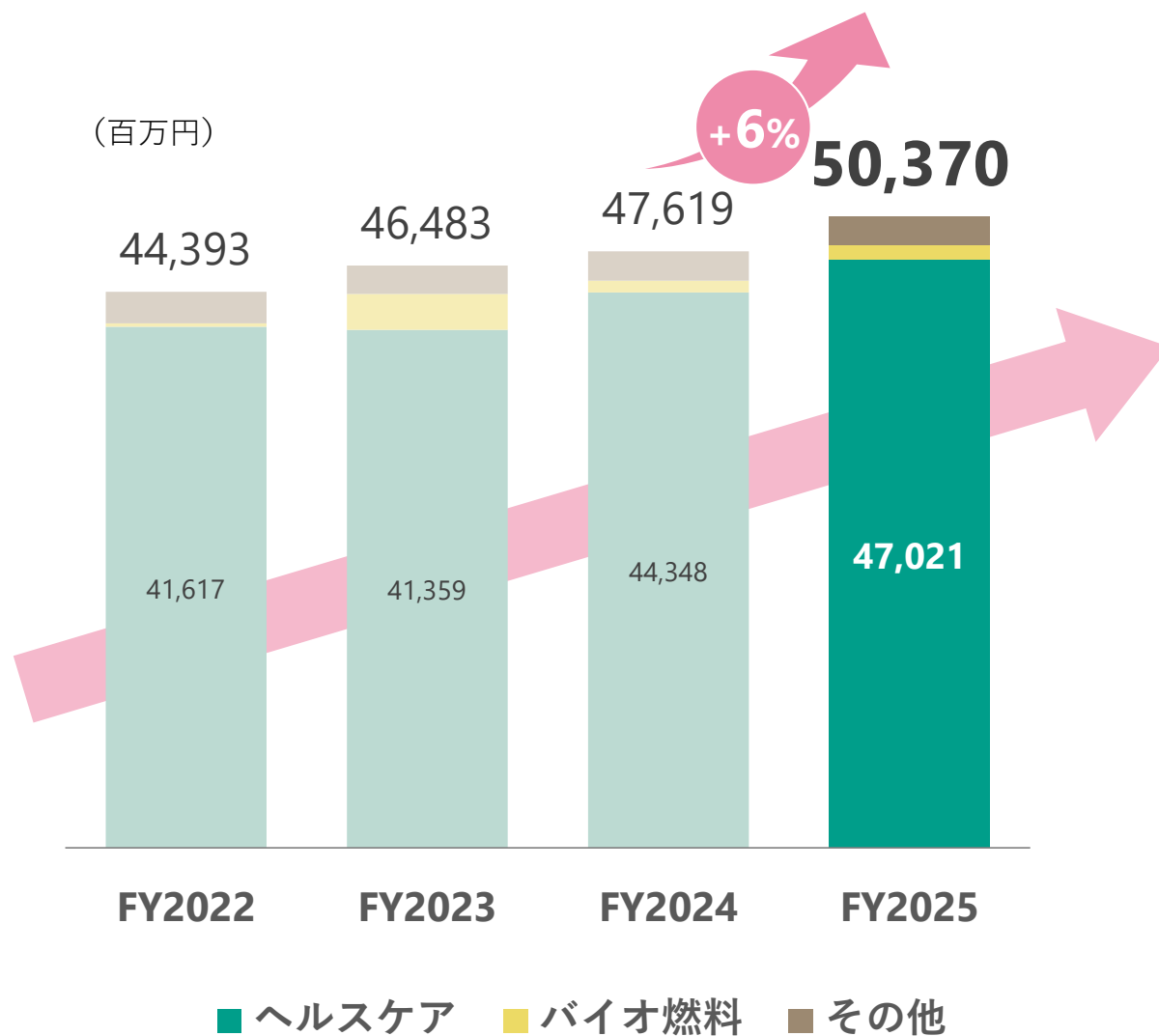


現状、業績はどのようなのか？

売上高

ヘルスケアが成長率引
過去最高の
売上高を達成

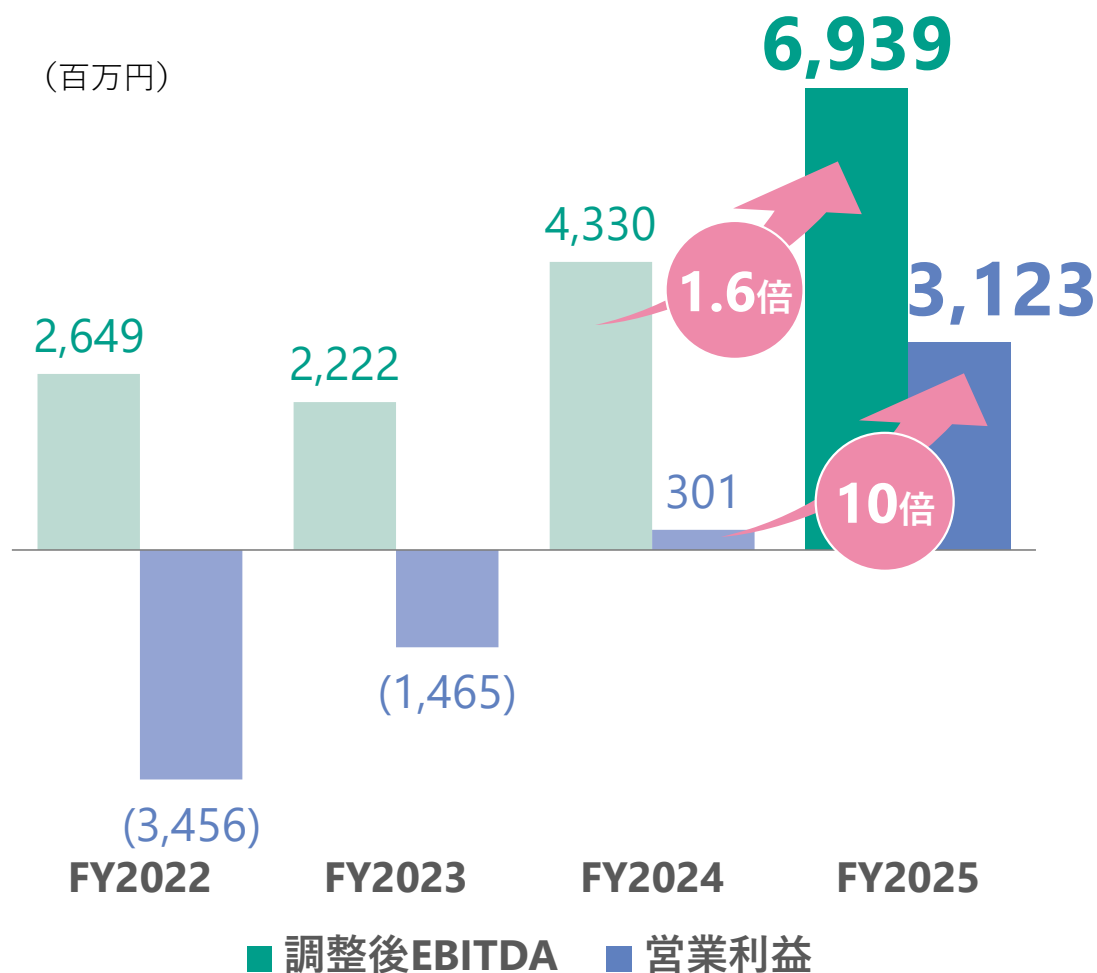
(百万円)



調整後EBITDA／営業利益

2024年度より
「黒字体質への転換」
を掲げ、1年で
営業黒字化を達成

2025年度は、
調整後EBITDAは**1.6倍**
営業利益は**10倍**に拡大

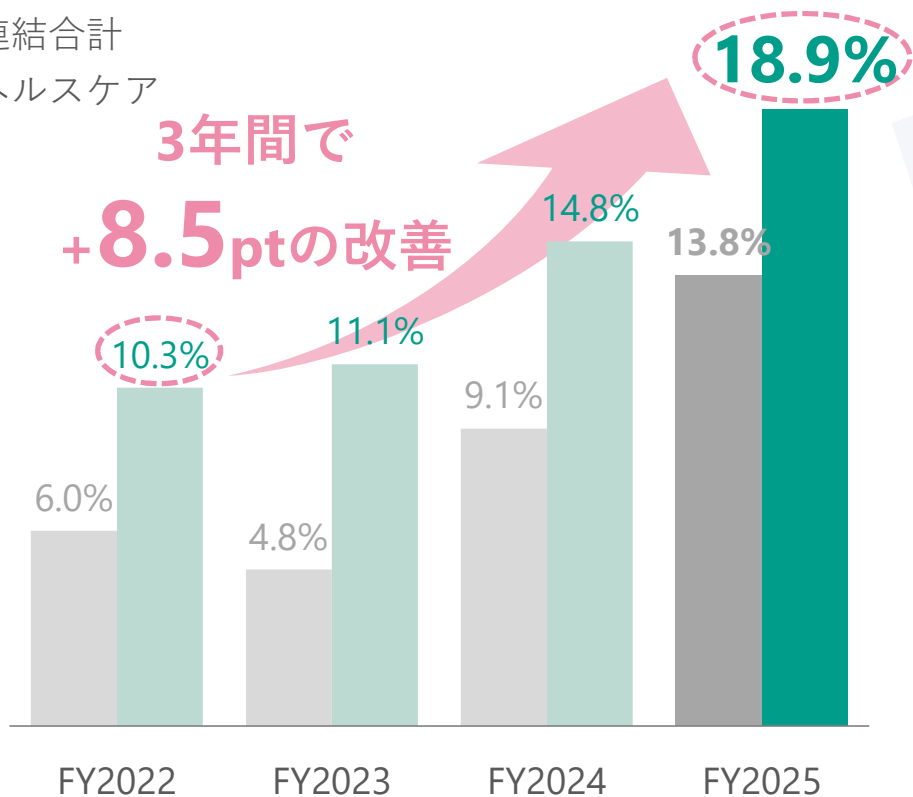


収益構造の劇的改善

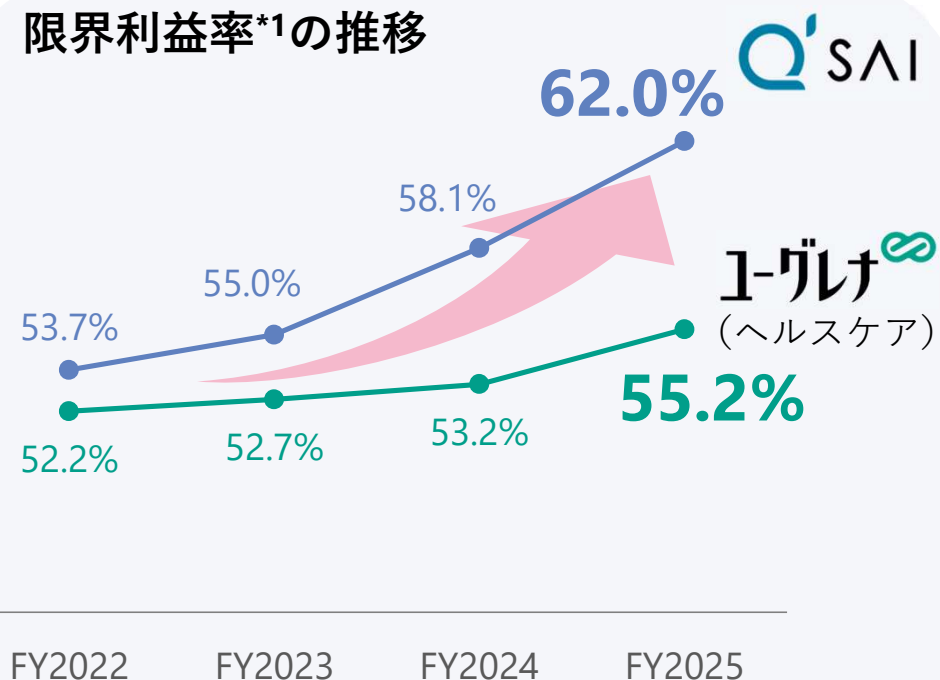
収益構造改革でヘルスケアの調整後EBITDAマージンが劇的に改善

調整後EBITDAマージン

- 連結合計
- ヘルスケア



限界利益率*1の推移



特にユーグレナヘルスケアとキューサイの限界利益率の改善が大きく寄与

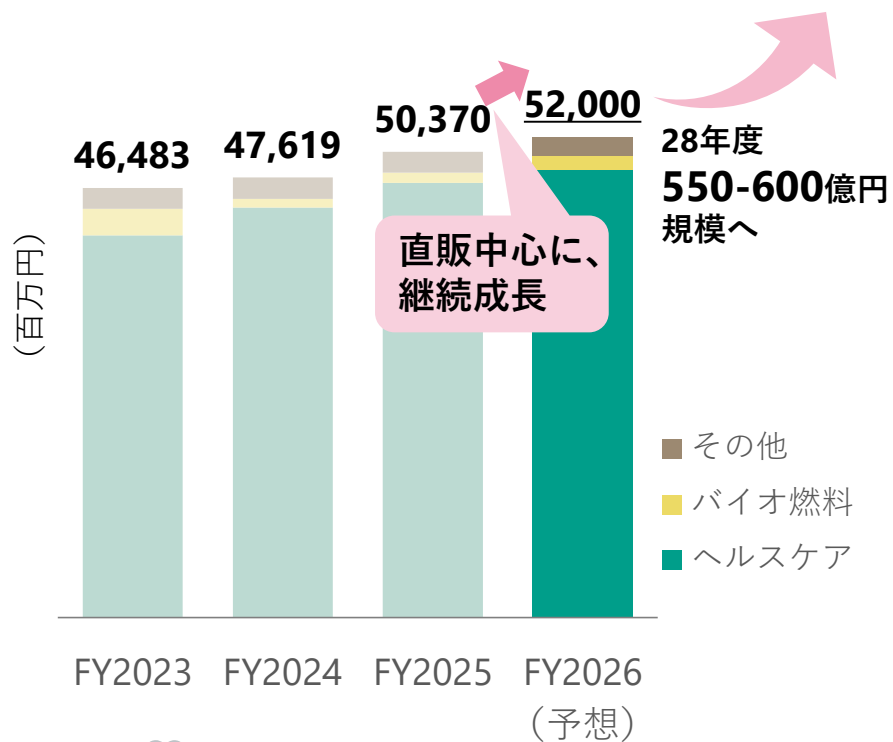
*1: 売上高に対する限界利益（売上総利益－広告宣伝費以外の販売費）の比率

2026年度業績予想

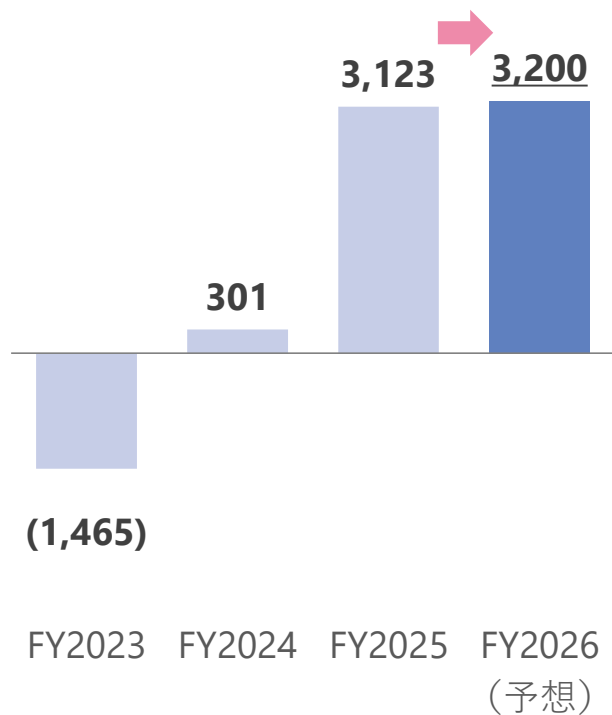
総仕上げとして、9期ぶりの当期純利益の黒字転換を目指す

2026年度は黒字体質は維持しつつ成長投資に着手。第1四半期も順調な進捗

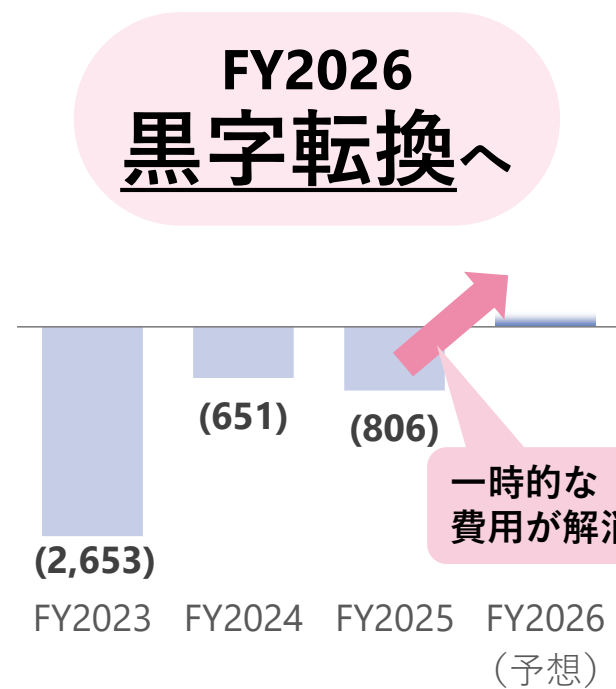
売上高



営業利益

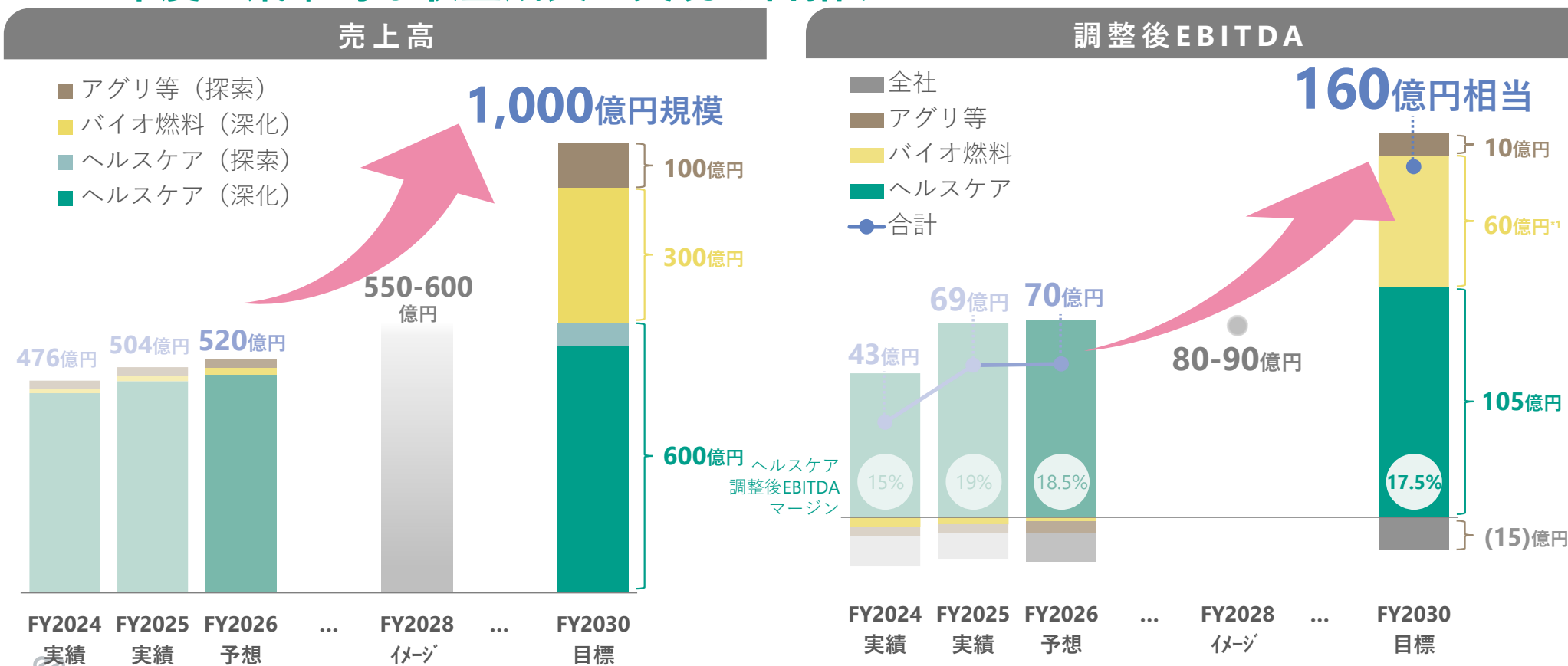


当期純利益



2030年度目標

ヘルスケア事業の安定成長とバイオ燃料商業プラントの本格稼働開始等により、2030年度は飛躍的な収益成長を実現を目指す



*1: 合併会社からの配当による税引前利益（資金調達費用を除く）ベース

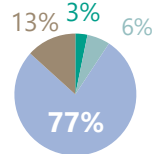
事業説明：ヘルスケア

ビジネスモデル - 3つのチャネル展開

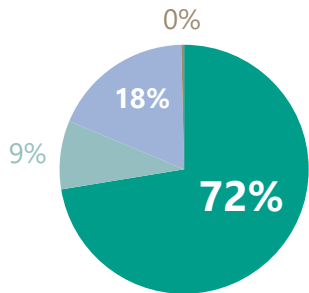
上場時、OEM中心だったビジネスモデルから直販中心のビジネスモデルへ転換

ヘルスケア売上内訳*1

2012年度：16億円



2025年度：470億円



■ 直販 ■ 流通
■ OEM等 ■ その他

直販 (BtoC)



食品&化粧品



当社ECサイト
「ユグレナ・オンラインショップ」
グループ会社ECサイト・通販

流通 (BtoBtoC)



食品&化粧品



全国のドラッグストア・
取扱店網 バラエティ
(美容院・ショップ等
専門店等)

OEM・原料供給 (BtoB)



サプリメント&
化粧品

微細藻類
粉末原料

製造の一部工程または
全工程を担う



粉末受託製造

OEM・ODM
顧客企業群

大手流通・
食品メーカー

コラゴ商品等

消費者

BtoC - 直販 (D2C) の多様なブランド・ポートフォリオ

成長・成熟・収益源ブランドを組み合わせた分散型ポートフォリオにより、安定成長と収益性のバランスを実現

1-グレ

Q'SAI

mej

食品

からだにユーグレナ



ひざサポート
コラーゲン



ザ・ケール



C COFFEE



化粧品

one



CONC



akyrise

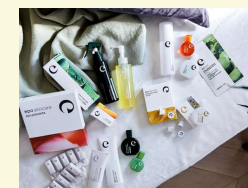


コラリッチ



épauler

epo

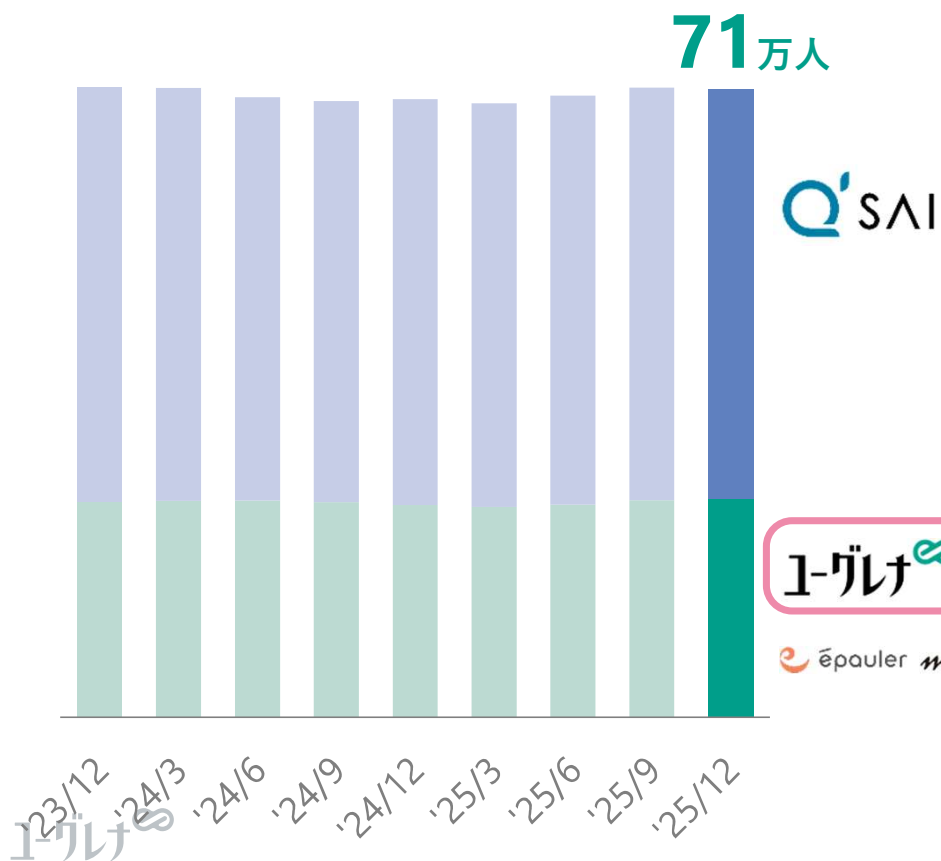


1-グレ

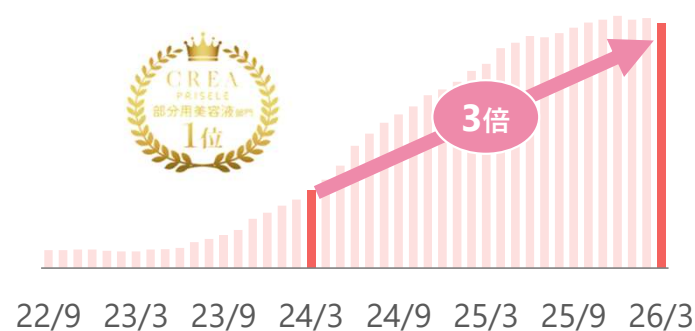
BtoC - 定期購入顧客基盤からの堅実なキャッシュフロー

定期的に利用する顧客に支えられ、安定した収益と持続的な成長を実現

グループ直販定期顧客数

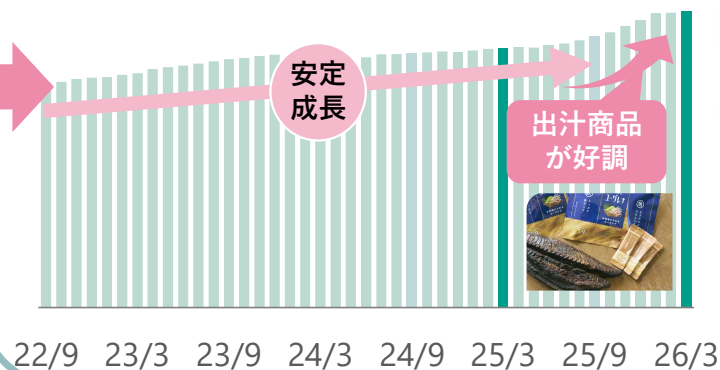


CONC (化粧品)



リンクルインジェクションが好調、定期顧客数が直近2年で3倍に

からだにユーグレナ (健康食品)



継続率の高い
基幹ブランドが
堅調な成長を維持

BtoC - 主カブランド「からだにユーグレナ」

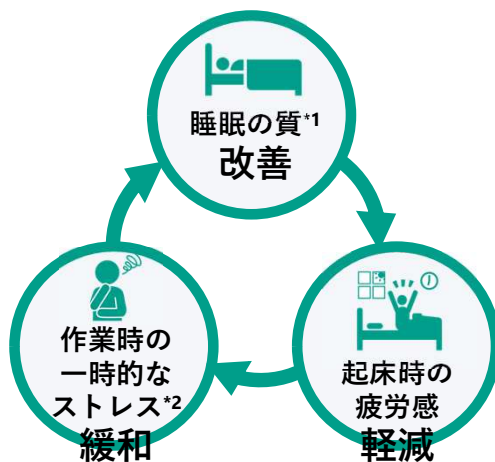
豊富な栄養素と機能性を軸に商品展開、直近は子育て世代向け商品が成長

からだにユーグレナ（健康食品）

59種類の栄養素



機能性表示食品

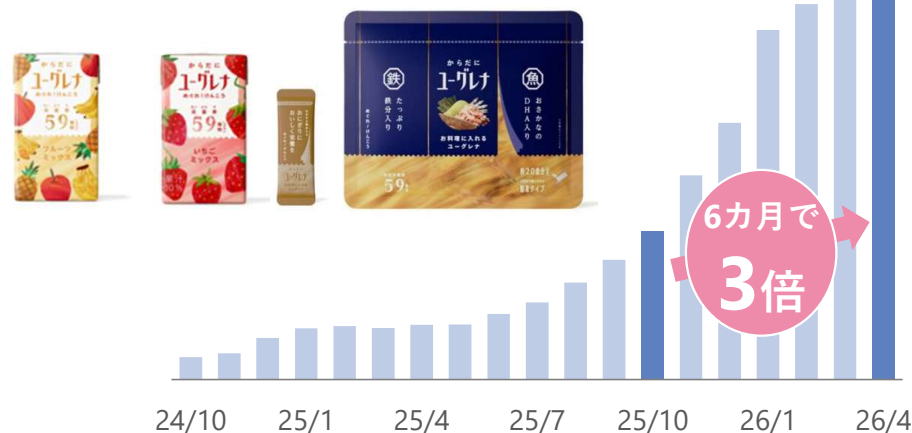


*1: 睡眠の質とは、眠りの深さ、すっきりとした目覚めのことを指す

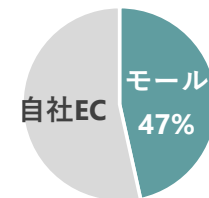
*2: ストレスとは、作業時の一時的なイライラ感、緊張感を指す

子育て世代向け食品

定期顧客数の推移（自社EC）



- 従来の自社ECサイトに加えて、ECモールを活用した販路を開拓
- 過去累積売上のECモール比率は47%



販路別累積売上比率



BtoB - 微細藻類軸の原料開発とOEM・原料販売

微細藻類のBtoB展開や認知拡大を通じて、自社商品の想起・購買機会を創出

OEM・原料販売



アリナミン@ナイトリカバー
快眠ユーグレナ



MOZYME (モザイム)



罪悪感のない
ラーメン



クーリッシュ
(LOTTE)



ペヤングやきそば
(まるか食品)



学校給食でのメニュー採用@石垣島



企業食堂での提供



企業食堂での提供

- 「精製パラミロン」を開発、無味・無臭・無色で様々な食品への導入を図る



素材認知強化

藻活



AlgaleX 伊那食品工業株式会社
INA FOOD INDUSTRY Co., Ltd.

クロレラ工業株式会社

SARABIO
温泉微生物研究所

Health is wealth
SUN-CHIORELLO

素材で、にっこり。
Sōkan

英語の食卓文化
ニコニコのり

ピストロ

フジッコ

MARUI GROUP

1-グレ

Ramla

化粧品原料開発

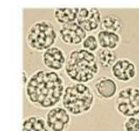
- 化粧品原料「パラミロン原末（ユーグレナ多糖体）」を開発、肌表面への微粒子付着を抑制する機能を確認
- 3種の微細藻類から「超長鎖セラミド」を発見、特許出願



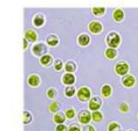
The Strategic FAB Company
SATICINE MEDICAL



ユーグレナ



オーランチ
オキトリウム



クロレラ

BtoB - 「金のユーグレナ」 事業の承継

「免疫」機能性表示を実現した「金のユーグレナ」事業を承継

緑のユーグレナ



59種類の栄養素

豊富な栄養素×機能性で、
食品・サプリメントで広く活用

金のユーグレナ



パラミロン高含有

食物繊維を機能性関与成分とする
免疫表示として日本初*1

機能性表示食品の届出実績



睡眠の質
改善



作業時の
一時的な
ストレス緩和



起床時の疲労感
の軽減



身体的疲労感
を軽減



精神的疲労感
を軽減



免疫機能の
維持に役立つ

BtoB - パラミロンのマルチ機能性素材としての可能性追求

機能性表示に「免疫機能の維持」が追加、マルチ機能性素材での展開を加速

パラミロンの機能性表示素材としてのポテンシャル



撮影：青山学院大学 福岡伸一教授

マルチ機能性表示の
拡充を加速

事業説明：バイオ燃料

バイオ燃料市場 - 脱炭素規制とエネルギー安保が需要を創出

バイオ燃料は脱炭素とエネルギー安保を同時に満たす現実的な選択肢

前提

SAFの混合義務化

欧州	アジア
<ul style="list-style-type: none">● 2025年より2%● 2030年には6%● 2035年には20%	<ul style="list-style-type: none">● シンガポール：2026年に1%● マレーシア：2026～27年に1%● インドネシア：2026年に3%● 韓国：2027年に1%● 日本：2030年に10%

追い風

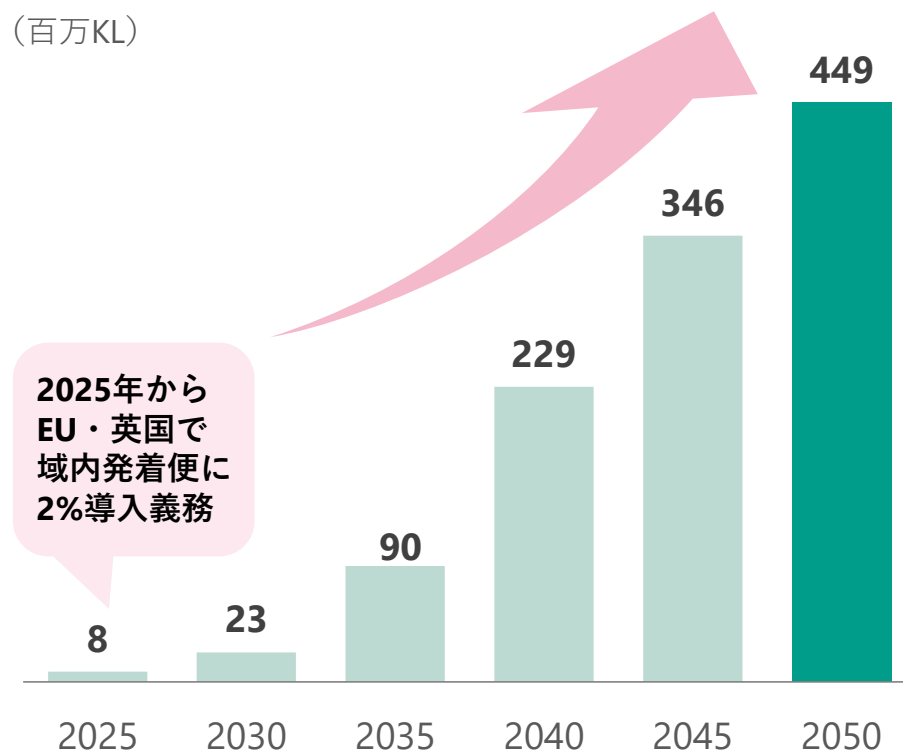
- エネルギー安全保障（供給源分散）
- GX-ETS始動（2026年4月）

日本は原油の9割以上を
中東からの輸入に依存



世界のSAF需要の見通し*1

(百万KL)



バイオ燃料事業の歩み

上場時の目標であったバイオ燃料事業の商業化に目途が立ち、次の挑戦は「藻油」開発



実証プラント*1

バイオ燃料の実用化
国内導入事例を拡大



SAF初フライト



HVOの公道利用



バイオ燃料事業の商業化
マレーシアで商業プラントの建設を開始、
サプライチェーンも構築中



国内供給 - 当社はSAF/HVO供給実績130件以上

電化が困難な液体燃料領域における脱炭素需要が増加

SAF



商業用ジェット機

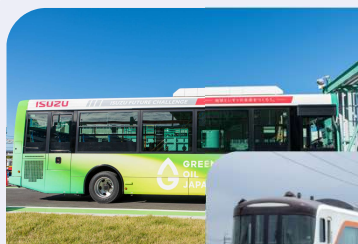


政府専用機



航空自衛隊戦闘機

HVO（次世代バイオディーゼル燃料）



運輸・物流（バス・トラック、鉄道）



建設重機



船舶・商船



ボイラー（工場）

国内供給 - 路線バスでのサステオ51導入

液体燃料領域において、サステオ51の本格導入も進展

導入事例：路線バス

- 業態：公共交通
- 導入内容：
 - 既存路線バス65台でサステオ51を使用
- ポイント
 - 通常ダイヤの運行に組み込み
 - 実証ではなく実運用での導入



ラッピングバス車両も準備完了！



商業化 - 建設工事は順調に進捗



マレーシアPETRONAS社の敷地内に建設中



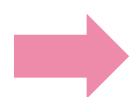
ユグレナ



PETRONAS



- 製造能力：
約**72.5万KL/年**相当*2
- スケジュール：
2028年下期迄の稼働開始予定
- 進捗状況：
2025年7月に持分15%が確定
(必要資金額も確保済)



当社は約10万KL/年の
取り扱いを見込む



鋤入れ式 (2025年11月)



建設現場 (2025年6月)

商業化 - 収益ポテンシャルの蓋然性

当社の収益ポテンシャル*1

売上高（原料/製品トレーディング）

300億円/年規模

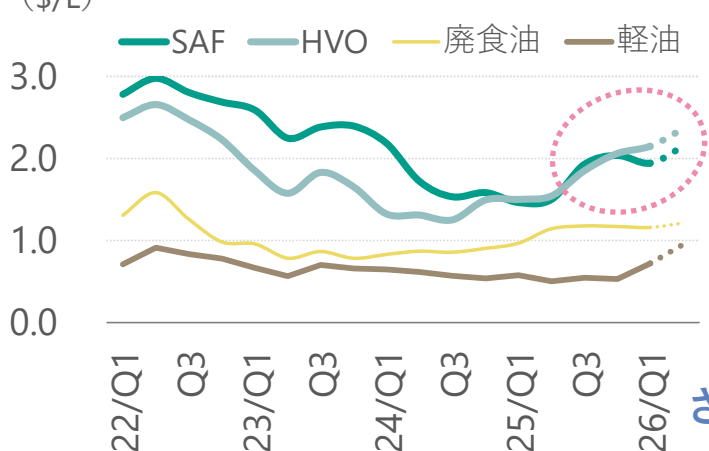
税引前利益（資金調達影響を除く）：

60億円/年以上 + トレーディングからの利益

15%出資 = 当社取扱量10万KL × 価格300円/L

国際競争力 → 収益性

価格推移（2025年、欧州）



2026年1Qは
US\$2.0-2.4/l
(約314-377円/l)*2
前後で推移

2030年に向けて
さらに上昇する見込み

- アジア最大級規模の製造能力
- SAFとHVOをフレキシブルに生産
- 原料供給ソースや主要な国際航路にアクセスしやすい地理的優位性



技術力、原料調達力を有するパートナー

*1: バイオ燃料取扱量約10万KL/年相当、バイオ燃料価格@300円/L、本合弁会社の純利益率20%以上・配当性向100%（資金調達影響は加味せず）という前提条件のもと、例示を目的として作成した当社独自のシミュレーション値。当社又はプロジェクトの正式な予測値・目標値ではなく、今後の事業進捗や市場動向により変動

*2: Argus社データを基に当社で作成した参考値で、実際の価格は地域や取引条件によって異なる。比重は燃料0.8g/cm3・廃食油0.9g/cm3、\$1=150円で試算

さらなる成長に向けた取り組み

—微細藻類を起点とした次の成長の種

両利きの経営 - 「深化」と「探索」の領域

既存事業の強化と微細藻類を起点とした新領域の成長により、2030年度目標の達成と、2030年以降の収益成長を目指す

既存領域の「深化」

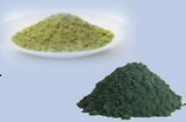
既存のアセットと事業基盤を強化し、
強固で安定的な収益基盤を構築

ヘルスケア事業 (国内)

BtoC
(一般顧客
向け)



BtoB
(企業顧客
向け)



バイオ燃料事業



新規領域の「探索」

微細藻類を起点とした4つの領域で、
新たな価値と市場を創出、成長機会を開拓

1

ヘルスケア事業

海外展開



2

ヘルスケア事業 疾患領域 (CKD)



3

アグリ事業



コンパニオン
アニマル領域



4

バイオ燃料事業 藻油開発



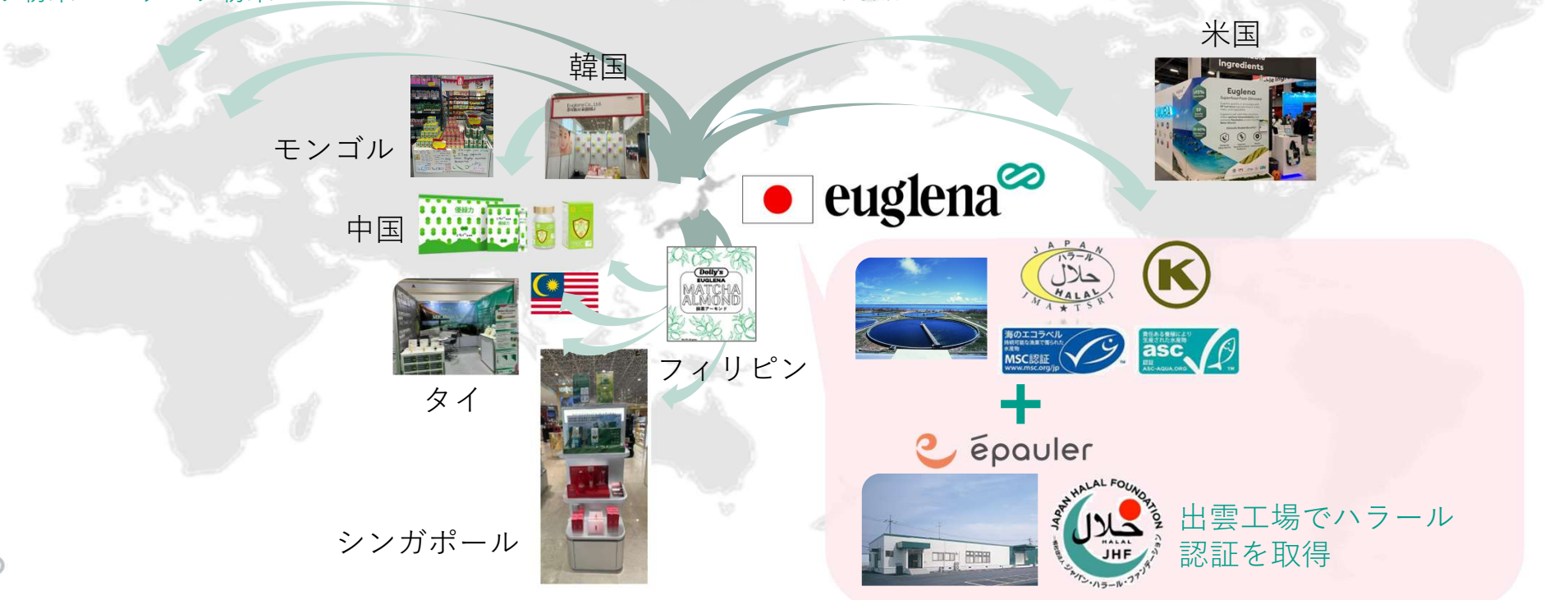
1 ヘルスケア海外展開

ハラールを含む各種認証を活かしつつ、グローバル展開に向けて製品輸出・OEM・海外展示会出展を推進



クロレラ粉末 ユーグレナ粉末 パラミロン粉末

ユーグレナグループ商品



モンゴル

韓国

米国

中国

euglena



タイ



フィリピン



epauler



出雲工場でハラール認証を取得

2 疾患領域 - 慢性腎臓病に対するパラミロン活用の可能性

慢性腎臓病（CKD）は医療分野における重要課題の一つ
ユーグレナの独自成分パラミロンを活用した新たなアプローチを目指す

社会課題

- 日本のCKD患者は約**2,000万人**
（**成人5人に1人**）*1、
うち透析患者は約33万人*2
- 関連医療費は**年1.6兆円***3
（医療費総額の**4%**）以上



求められる対応

- 腎疾患進行すると不可逆
- 進行抑制と食事負担の軽減が重要



当社の取り組み

パラミロンを活用した
メディカルフードの開発

過去の研究資産と
パートナーシップを活かし
実用化に挑戦

*1: CKD診療ガイドライン2024

*2: 日本透析医学会年次統計調査（2024年末時点）

*3: 厚生労働省 第139回社会保障審議会医療保険部会「参考資料2」（2021年、https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15981.html）

3 アグリ領域 - 微細藻類入り機能性肥料・飼料の展開

「いきものたちにユーグレナ」ブランドで商品を発売
水産・畜産・農業分野で「ユーグレナ育ち」認定製品が登場

機能性肥料・飼料の主な研究成果

肥料で土壌・植物を健康にする

微細藻類を土壌に加えることで、生育が良くなることを確認



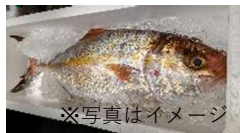
【定植17日後の様子】
水菜：生鮮重の増加を確認
ペチュニア：開花期間が長くなることを確認

飼料で家畜を健康にする

微細藻類入り飼料の給与で成長と免疫機能の向上を確認



ニワトリ
抗体産生が**1.2倍**（免疫機能）
体重が**1.2倍**（成長）



カンパチ
増重率が**7%増**（成長）
血液中リゾチーム活性*1が**1.3倍**

*1: リゾチームは細菌の細胞壁を分解する酵素（タンパク質）

*2: 南魚沼産「ユーグレナ育ち」の『ぴかまる』が世界最大級のお米コンクール「第27回「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」 in つくばみらい」で金賞受賞

「いきものたちにユーグレナ」商品発売



大協肥糧株式会社



あすかアニマルヘルス株式会社

「ユーグレナ育ち」認定製品が
水産・畜産・農業分野で登場



「ぴかまる」が
まつえんどんから発売*



「YESブリ」が
UTAKICHIから発売



「なごみたまご」が
宮本養鶏場から発売

4 藻油開発 - 生産量のスケールアップ

2030年までに生産量を3倍程度に拡大

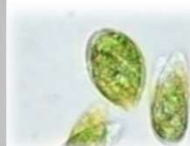
2030年代に微細藻類由来バイオ燃料と脱脂藻体活用による代替肥料・飼料の本格展開開始を目指す



微細藻類由来
バイオ燃料
(藻油)



代替肥料・飼料



微細藻類
生産量



食品

機能性肥料・飼料
ファインケミカル (化粧品・高機能原料)

3倍

生産量拡大に伴い
生産コストも低減

2025年

2030年~

20th

Anniversary
Euglena Co., Ltd.

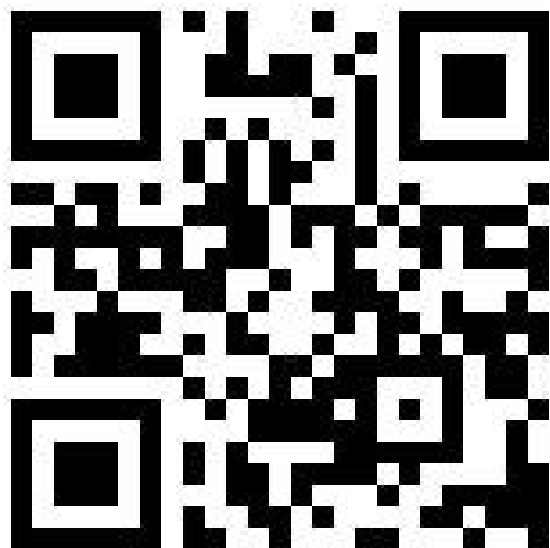
Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

エーグレナ[∞]

IRメルマガのご案内

IRメルマガではユーグレナのIR情報をタイムリーにお届けしています。
ぜひご登録ください！

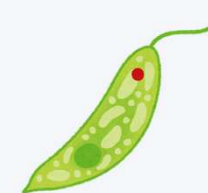
ご登録はこちらから↓



【IR情報は下記HPご参照ください】

・IRウェブサイト

<https://www.euglena.jp/ir/>



【シェアードリサーチ社による当社レポート】

(日) <https://sharedresearch.jp/ja/companies/2931>

(英) <https://sharedresearch.jp/en/companies/2931>

【株式・IRに関するお問い合わせ】

<https://www.euglena.jp/contact/c03/>

